

社会福祉法人アス・ライフ  
令和4年度 事業計画書

令和4年3月9日 理事会提出

令和4年3月29日 評議員会提出

提出者

理事長 藤田 英二

## 1. 法人経営の原則の遵守

当法人は、令和4年度事業を執行するに際し、法人定款第3条に規定する法人経営の原則を遵守する。

### 【法人定款】

#### （経営の原則）

第3条 この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を确实、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

## 2. 経営理念と基本方針

### 【理 念】

- 1) 豊かな人生につながる支援
- 2) 地域社会から信頼される活動
- 3) 職員の豊かな生活

### 【基本方針（目標）】

私たちは、常に専門的役割と使命を自覚し、利用者の自立と自己実現のために寄り添い、必要な支援を行います。

1. 利用者の尊厳を重んじた支援
2. ひとり一人にあった個別的な支援
3. 自分で選び、自分で決める利用者主体の支援
4. 社会の一員として地域の中で暮らすための支援
5. 利用者や職員の保健・衛生面の管理には、細心の注意を払う

## 3. 理事会・評議員会の開催

### ① 評議員会の開催

（評議員会は、定款等の重要事項を決定する。）

法人定款に定めるところにより、評議員会の意見を聴くこととされている事案のある場合に開催（令和4年5月、令和5年3月を予定）する。ただし、必要がある場合は、その都度、開催する。

### ② 理事会の開催

（理事会は、業務執行の決定を行う。）

年3回開催（令和4年5月、11月、令和5年3月を予定）する。

理事会は業務執行の決定を行う。ただし、必要がある場合は、その都度、開催する。

#### 4. 事業運営

- ①第二種社会福祉事業 障がい福祉サービス事業（生活介護・生活訓練・機能訓練(休止)）運営
- ②第二種社会福祉事業 障がい福祉サービス事業（就労移行支援・就労継続支援B型）の運営
- ③第二種社会福祉事業 障がい福祉サービス事業（居宅介護・重度訪問介護・同行援護）の運営
- ④第二種社会福祉事業 障がい福祉サービス事業（移動支援）運営
- ⑤第二種社会福祉事業 障がい児通所支援事業（放課後等デイサービス）運営
- ⑥第二種社会福祉事業 老人居宅介護等事業（訪問介護・介護予防日常生活支援総合事業）の運営

#### 5. 本年度の重点施策

##### (1) 長期展望に基づく経営基盤及び経営組織の強化

- ①地域密着に視点をおき地域と連携した事業活動
- ②就労継続支援B型事業所の生産活動の充実及び利用者増
- ③人員体制の強化及び職員の定着率向上
- ④地域社会で暮らせる支援の為に訪問介護事業の充実
- ⑤若手職員の育成
- ⑥各種研修への参加
- ⑦なかぞのフォア・アスの施設創設

##### (2) 事業所としての理念／基本方針の徹底

- ①経営理念、基本方針の職員への周知
- ②関係法令及び法人規程の遵守等
- ③利用者の権利擁護の堅持

##### (3) 各事業の定着化・拡大

- ①各事業所の独立再生産
- ②様々な障がい特性に応じられる施設の環境づくり
- ③ 利用定員の確保
- ④ 障がい特性に配慮した人員体制づくり

(4) 余暇活動の支援充実

- ① 職員や地域の関わりのなかで様々な体験を利用者に提供する
- ② 利用者各々の障がいに合わせた活動の模索
- ③ 季節を楽しむ行事の実施
- ④ 利用者の余暇活動充実のための支援強化

(5) 介護保険事業の経営

- ① 報酬加算による収益の獲得
- ② 登録訪問介護職の増員
- ③ ITの導入に向けて検討

(6) 施設・設備の管理

- ① 施設環境の整理整頓と美化
- ② 計画的な施設清掃
- ③ 送迎車両の清掃及び修理
- ④ 備品等の計画的購入

(7) 就労移行・就労継続支援事業所アス・ワークの支援強化

- ① 就労継続支援利用者の障がいにマッチングした生産活動の充実
- ② 幅広い障がいレベルに配慮したサービスの提供
- ③ 積極的に総合支援学校等からの現場実習生や体験者の受け入れを実施

(8) 人事管理の充実

- ① プロとして果たすべき使命を持った職員の育成
- ② 職員の業務に対する志気の高揚、人権尊重やコンプライアンス意識及び経営感覚の醸成など、今後の法人運営に必要不可欠な中堅職員の育成
- ③ 役職職員の職責に基づく職務の履行の徹底
- ④ 職員目標管理制度を活用した個別職員研修の充実
- ⑤ 永年勤続表彰
- ⑥ 採用活動のための法人パンフレットの充実
- ⑦ 社内研修・人事交流研修の検討

(9) 財務管理

- ① 経理事務の合理化・適正化・安定化（顧問税理士による指導・相談・職務の割当）
- ② 契約の透明性の確保
- ③ 運転資金の安定化

④社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム

(10)事業経営の透明性の推進

①事業経営・運営状況のホームページ等による公表

②役員等報酬基準の公表

③評議員会を議決機関、牽制機関、理事会を意思決定機関とした運営の継続、監事の理事会への出席義務、報告義務の取り組み

(11)災害・防災に対する取り組み

①災害安全計画の確認と避難訓練の定期的実施

②施設・設備の定期的な安全点検の実施

③災害時における職員の動員体制

④自衛消防組織・編成の定期的確認

(12) 令和3年～5年度の3年間中期計画

① 各事業所の平均利用者目標 (1日平均利用 ※アス・ヘルパーのみ月平均)

	令和 3年	4年	5年
アス・ライフ(定員31名)	23名	25名	27名
アス・ワーク(定員31名)	14名	16名	18名
大市デイ (定員12名)	9.0名	9.5名	11名
なかそのフォア・アス(定員10名)	9.3名	9.7名	9.7名※日中一時除く
おおいちフォア・アス(定員10名)	9.3名	9.7名	9.7名 //
みらい フォア・アス(定員10名)	8.2名	8.7名	9.3名 //
アス・ヘルパーステーション	80名	85名	90名(月平均実利用)

参考：各事業所の平均利用者実績 (1日平均利用 ※アス・ヘルパーのみ月平均)

	令和 3年	4年	5年
アス・ライフ(定員31名)	19名 ※日中一時除く		
アス・ワーク(定員31名)	14.5名		
大市デイ (定員12名)	7.9名		
なかそのフォア・アス(定員10名)	8.8名 ※日中一時除く		
おおいちフォア・アス(定員10名)	7.8名 ※日中一時除く		
みらい フォア・アス(定員10名)	7.8名 ※日中一時除く		
アス・ヘルパーステーション	73名		

令和4年度スローガン

## 「革新進歩」

— 豊かな人生に繋げるために、—

約2年にわたり、新型コロナウイルス感染症の嵐が世界中に吹き荒れています。最近ではオミクロン株の出現で新たな不安要素も見られ、終息の見通しはいまだに立っていません。当法人内ではいまのところクラスターなどの発生もなく、生活介護事業や居宅介護事業など継続することができ、お陰様で地域のさまざまな活動の下支えに貢献出来ています。法人をあげて感染のリスク回避対策を徹底し、利用者や家族、職員やその家族の安全な生活を守ることを一番に考えて行動を行っていかねばならないと考えています。

今年度はなかそのフォア・アスの移転工事など大きな事業を推し進めていく予定です。法人所有の施設を構えることで持続的な福祉サービスの提供と経営機能の強化や経営基盤の確立に向け一歩前進することが出来ます。

また、将来の組織活性化に向けた人員採用、人事評価、研修によるレベルアップ、やりがいの感じられる職場づくり、或いは介護職員の業務軽減や効率化に向けてのICTの導入など検討していきたいと思えます。今年度も、「革新進歩」のスローガンを上げ、全員で新しいことにチャレンジしていきます。